

授業科目	科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
臨床病態生理学特論	2単位30時間(15コマ) 講義科目	博士前期1年次 前期開講	<input checked="" type="checkbox"/> ・不可
科目責任者	新井 陽		
担当者	新井 陽, 大山 博史, 今 淳, 鳴井 ひろみ, 神成 一哉 (非常勤)		
1. 科目のねらい・目標			
<p><ねらい></p> <p>医療の現場で遭遇する重要疾患の成因, 病態, 治療に関する最新の知見を概説し, 看護師として根拠に基づいた適切な判断と対応ができるための知識・技術を身につけ, 高度な看護を実践できる能力を養うことを目的とする。特に近年の感染症や新たな分子標的薬などに関する理解に不可欠な免疫学の概要を学習することに注力する。</p> <p><到達目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 症状・徴候が発現する病態生理を理解できる。 2. 医療に必要な免疫学に関する基礎知識を持つ。 3. 重要疾患の検査や治療法の意味について説明できる。 4. 病態生理学の知識を看護実践につなげることができる。 			
2. 授業計画・内容			
	担当教員	内容	
1	新井	循環器系疾患(高血圧, 虚血性心疾患, 不整脈など)の病態生理を理解し, 発症機序や症状, 身体の変化を学ぶ。	
2	新井	糖尿病とその三大合併症についての病態生理および診断・治療法を理解する。	
3	新井	神経難病(パーキンソン病, 筋萎縮性側索硬化症, 脊髄小脳変性症など)の病態を理解し, 医学的観点だけでなく, 社会福祉的観点も交えた包括的ケアの実情と対策を考える。	
4	新井	脳血管障害(脳出血, 脳梗塞)の病態生理, 臨床症状, 治療について理解する。	
5	新井	消化器系疾患(消化管疾患, 肝疾患など)の病態生理の理解および診断・治療に関して理解する。	
6	新井	呼吸器系疾患(肺炎など)の病態生理の理解および診断・治療に関して理解する。	
7	神成	免疫学の基礎1	
8	神成	免疫学の基礎2	
9	神成	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	
10	神成	がん免疫, 分子標的薬	
11	今	遺伝性疾患: 染色体異常による疾患, 遺伝子変異による疾患について理解する。	
12	今	免疫と皮膚疾患: アレルギー疾患, 膠原病, 水疱症, アトピー性皮膚炎, 蕁麻疹, 湿疹・皮膚炎の概要と治療について理解する。	
13	大山	精神疾患(1): 認知症とうつ病の病態生理の理解および診断・治療に関して理解する。	
14	大山	精神疾患(2): 妄想およびせん妄の病態生理の理解および診断・治療に関して理解する。	
15	鳴井	複合的な症状・徴候を示す事例から, 症状や検査結果等から病態生理を検討し, 看護計画を立案する。	
3. 教科書、参考書			
<p>参考書については下記のほか, 随時呈示する。</p> <p>浅野嘉延・吉山直樹編 看護のための臨床病態学 改定5版 南山堂</p>			

<p>萩原清文（著）：好きになる免疫学第2版 講談社 2019 齋藤紀先（著）：休み時間の免疫学第3版 講談社 2018</p>
<p>4. 成績評価方法</p>
<p>講義への参加態度（30%）とレポート等（70%）により評価する。</p>
<p>5. 受講要件</p>
<p>看護師免許を取得していること</p>
<p>6. 社会人学生に対する配慮</p>
<p>平日夜間あるいは夏期集中講義で対応する</p>
<p>7. その他</p>
<p>基本的には対面授業とするが、日程や内容によってはオンライン受講も可能である。その場合は webex を使用する。 オンデマンド受講については、事前に担当教員と協議の上、認められた場合は実施可能である。またオンデマンド受講の場合はレポート課題で評価する。</p>